



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カインス
コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地史朗
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 林司

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,297	△8.6	401	△10.8	422	△5.1	273	△10.1
29年3月期第3四半期	3,609	△8.3	449	20.8	444	17.7	303	16.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	65.35	—
29年3月期第3四半期	72.70	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	6,157	3,867	3,867	62.8	62.8	925.25
29年3月期	5,803	3,642	3,642	62.8	62.8	871.52

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 3,867百万円 29年3月期 3,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	△2.2	420	△11.5	440	△6.0	260	△16.1	62.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	4,558,860 株	29年3月期	4,558,860 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	378,810 株	29年3月期	378,810 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	4,180,050 株	29年3月期3Q	4,180,145 株

(注) 期末自己株式には、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式(30年3月期3Q 278,000株、29年3月期 278,000株)が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(30年3月期3Q 278,000株、29年3月期 245,333株)

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報	1
	（1） 経営成績に関する説明	1
	（2） 財政状態に関する説明	1
	（3） 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2	四半期財務諸表及び主な注記	3
	（1） 四半期貸借対照表	3
	（2） 四半期損益計算書	4
	（3） 四半期財務諸表に関する注記事項	5
	（継続企業の前提に関する注記）	5
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における国内経済は、海外経済の景気拡大による輸出及び設備投資の増勢が続く、個人消費も底堅く推移しており、穏やかではありますが回復の基調であります。

一方、海外では米国の個人消費による景気の下支え及びユーロ圏では金融緩和の影響もあり、個人消費や設備投資などの内需が拡大の傾向にあります。

臨床検査薬業界におきましては、市場自体は横ばいから微増ながらも、価格競争等により引き続き厳しい状況は継続しております。

このような環境の下、当第3四半期累計期間の売上高につきましては、32億9千7百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

検査分野別で見ると、生化学検査分野におきましては、肝機能検査試薬及び腎機能検査試薬が堅調に推移したことにより13億7千4百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

免疫検査分野におきましては、輸血検査試薬及びインフルエンザ検査試薬が堅調に推移する一方、アレルギー検査試薬が競合品の影響を受けたことにより18億1百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

また、その他の分野におきましては、主に特許期間の終了によりロイヤリティ収入が減少し1億2千1百万円（前年同期比63.0%減）となりました。

この結果、営業利益につきましては、4億1百万円（前年同期比10.8%減）、経常利益につきましては、4億2千2百万円（前年同期比5.1%減）となり、四半期純利益につきましては、2億7千3百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第3四半期累計期間 〔自平成28年4月1日 至平成28年12月31日〕		当第3四半期累計期間 〔自平成29年4月1日 至平成29年12月31日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	1,341,944	37.2	1,318,752	40.0
	免疫血清学的検査用試薬	756,565	21.0	790,035	24.0
	そ の 他	318,851	8.8	119,416	3.6
	計	2,417,361	67.0	2,228,205	67.6
商 品	生化学的検査用試薬	63,890	1.8	55,999	1.7
	免疫血清学的検査用試薬	1,118,843	31.0	1,011,056	30.7
	そ の 他	9,176	0.3	1,948	0.1
	計	1,191,910	33.0	1,069,005	32.4
合 計	生化学的検査用試薬	1,405,834	39.0	1,374,752	41.7
	免疫血清学的検査用試薬	1,875,409	52.0	1,801,092	54.6
	そ の 他	328,027	9.1	121,365	3.7
	計	3,609,271	100.0	3,297,210	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産の額は、61億5千7百万円となり、前事業年度末と比べ3億5千4百万円増加いたしました。流動資産は31億8千5百万円となり、前事業年度末と比べ3億7千1百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が6百万円、流動資産のその他が1千8百万円それぞれ減少したものの、受取手形及び売掛金が3億6千4百万円、たな卸資産が3千1百万円それぞれ増加したことによります。固定資産は29億7千2百万円となり、前事業年度末と比べ1千6百万円の減少となりました。その主な要因は、製造設備及びソフトウェアなどの更新により7千3百万円増加したものの、研究所の統合に伴う減損損失が3千2百万円、減価償却の進捗などにより8千3百万円減少したことによります。

当第3四半期会計期間末における負債の額は、22億9千万円となり、前事業年度末と比べ1億2千9百万円の増加となりました。その主な要因は、未払法人税等が2千7百万円、賞与引当金が5千4百万円、長期借入金が1億円それぞれ減少したものの、支払手形及び買掛金が9千3百万円、短期借入金が1億9千万円、流動負債のその他が3千万円それぞれ増加したことによります。

当第 3 四半期会計期間末における純資産の額は、38 億 6 千 7 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 億 2 千 4 百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の配当により 5 千 5 百万円減少したものの、四半期純利益 2 億 7 千 3 百万円を計上したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内では、前事業年度からの経済対策効果も一巡し落ち着きを示しつつある中で、輸出は拡大基調を維持し、個人消費も回復の基調にあり、緩やかではありますが改善していくものと思われ

ます。
海外におきましては、個人消費、設備投資など内需の拡大により、景気拡大が堅調に続く傾向を示す一方で、地政学的リスクの高まりも懸念されており、景気回復につきましては依然不透明な状況にあります。

当社におきましては、生化学検査分野では、主に腎機能検査試薬の改良品をはじめとした血清マルチキャリブレーター項目の拡販、免疫検査分野では、輸血関連製品などの積極的な拡販を継続してまいります。

このような状況の下、当社の平成 30 年 3 月期通期業績につきまして、売上高につきましては、これまで通り 46 億円と予想は変えておりませんが、製造効率及び販売費等の効率改善効果により営業利益では 4 億 2 千万円、経常利益では 4 億 4 千万円、当期純利益については 2 億 6 千万円と、前回予想の平成 29 年 5 月 10 日付「平成 29 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」を上回る見込みです。

(通 期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,600	百万円 350	百万円 340	百万円 235	円 銭 56.22
今回修正予想 (B)	4,600	420	440	260	62.20
増減額 (B)-(A)	-	70	100	25	-
増減率 (%)	-	20.0	29.4	10.6	-
前期実績	4,703	474	468	309	74.12

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,201,838	1,195,581
受取手形及び売掛金	1,061,759	1,426,381
商品及び製品	254,264	278,050
仕掛品	57,666	57,105
原材料及び貯蔵品	148,502	156,398
その他	92,571	74,397
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,813,702	3,185,014
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	682,489	642,636
土地	1,851,453	1,833,020
その他（純額）	214,957	195,847
有形固定資産合計	2,748,899	2,671,503
無形固定資産	13,576	48,107
投資その他の資産	227,257	253,304
固定資産合計	2,989,732	2,972,915
資産合計	5,803,435	6,157,930
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	504,235	597,387
短期借入金	600,000	790,000
未払法人税等	76,607	48,846
賞与引当金	116,080	61,100
その他	410,268	440,805
流動負債合計	1,707,191	1,938,140
固定負債		
長期借入金	400,000	300,000
役員株式給付引当金	—	5,637
その他	53,258	46,548
固定負債合計	453,258	352,186
負債合計	2,160,450	2,290,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	2,045,580	2,263,028
自己株式	△223,303	△223,303
株主資本合計	3,582,423	3,799,872
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60,561	67,732
評価・換算差額等合計	60,561	67,732
純資産合計	3,642,984	3,867,604
負債純資産合計	5,803,435	6,157,930

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,609,271	3,297,210
売上原価	1,905,777	1,767,534
売上総利益	1,703,493	1,529,676
販売費及び一般管理費	1,253,687	1,128,452
営業利益	449,806	401,223
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,088	5,557
為替差益	—	18,741
その他	5,971	4,657
営業外収益合計	11,059	28,956
営業外費用		
支払利息	8,518	7,093
手形売却損	577	552
為替差損	5,874	—
その他	1,089	530
営業外費用合計	16,061	8,176
経常利益	444,805	422,003
特別損失		
固定資産除却損	9,944	23,967
減損損失	—	32,787
その他	—	5,250
特別損失合計	9,944	62,004
税引前四半期純利益	434,860	359,998
法人税、住民税及び事業税	67,964	110,224
法人税等調整額	63,000	△23,400
法人税等合計	130,964	86,824
四半期純利益	303,895	273,173

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。